

ご主人様、
本日もお疲れ様でした。

ご主人様の疲労が
少しでも癒されるよう、
ご奉仕させていただきます♡

たぷん♡

相変わらずご立派で
ございますね…♡

はぁい

はぁい

奉仕する身でありながら、
どうしても胸が
高鳴ってしまいます…♡♡

ぐき

ぐき

本日はご主人様が
動かれる、と？

はい、承知いたしました。
では……

はぁい

はぁい

ぐき

どき

ベルファストは
このようにして
サポートいたしますので…

♡ご主人様のお好きなように、
ベルファストの乳房を
お楽しみくださいませ♡

ぎゅっ♡

んっ♡ふっ♡
今夜は一段と、
滾っておられますね…♡

胸の中から、
いつもより強く
脈打っているのを
感じます…♡

んっ♡
ブルっ♡
ぱちゃん♡
ぱちゃん♡

ご主人様、
遠慮する必要は
ございません♡

ベルファストの膣内と思って、
存分に味わってくださいませ♡

ブルっ♡

ブルっ♡

ぱちゃん♡

ぱちゃん♡

あぁっ♡
そうです♡

ベルファストの
乳房を犯すように、
激しく打ち付けて...♡♡♡

んぁっ♡

あっ♡

グホッ

グホっ♡

ハッハッ
グッグッ

もう出そうですか？
承知しました♡

ご主人様の濃厚な子種を、
ベルファストの乳内に
たっぷりお射精ください……♡♡♡

んあ♡

あ♡

グホッ

グホ…♡

ハッハッ
グッグッ



ふふっ、胸の中で
大きく跳ねております…♡

まるでベルファストの乳房を
孕ませようとしているみたいです…♡

はー

はー

ゴッ

ゴッ

ビュ

ビュルル

なんて濃厚な
精子...♡♡
ご立派な射精で
ございます♡♡

指揮官様の雄の匂いを
マーキングされて
しまいました...♡♡

はー

はー

ドロッ

申し訳ございません…
ベルファストも、我慢できなくな
ってしまいました…♡♡

ご主人様の特濃精子、
今度はベルファストの中に
注いでくださいませ…♡♡

はー

はー

んき♡

んき♡

きん♡
きん♡























